

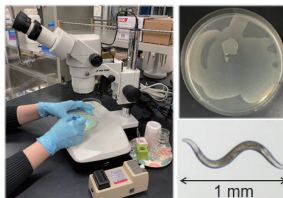
- 代表者 / 東村 泰希 准教授
- 所属 / 生物資源環境学部食品科学科
- 専門分野 / 食品生化学

石川県公立大学法人 石川県立大学 食品生化学研究室

TEL:076-227-7566

〒921-8836

石川県野々市市末松1丁目308番地



PR 販路 産学 情報 人材 腸からの漏れを定量評価する!

▶ 研究内容の特徴

モデル生物である線虫カエノラプディティス・エレガンスを用いて、腸管透過性(腸管内から体内への漏出性)を評価する新たな実験系を開発しました。

▶ 技術アピール・マッチングニーズ

線虫は“生きた試験管”ともいわれるように、様々な生命現象をin vivoで評価できる優れたモデル生物です。近年、“leaky gut(漏れやすい腸)”という状態が多くの病気の素因として注目されています。また、腸のバリア機能を高め、漏れにくい状態を目指すことが健康増進に重要とされています。我々は、leaky gutの指標である腸管透過性を、線虫を用いて定量的に評価する実験系を開発しました。本系を用いて、腸を起点とした健康増進に資する栄養・食品因子などを探索したいと考えています。

ココがスゴい!

開発した評価系のフローチャート

ステップ1：
蛍光物質の投与

ステップ2：
腸管内の洗浄

